

【分科会の感想・言語発達遅滞】

所属の地区	5. 言語発達遅滞
磐周	・グループで話していても大ベテランの先生でも目標設定の仕方等悩まれているんだなと思いました。・宝探しゲームが興味深かった。・子どもが実際にゲーム等で遊んでいる様子が分かるものがあると、とても参考になるので欲しかったです。
浜松	1年間にわたる取り組みの内容を紹介していただき、大変参考になりました。特に、音韻認識を高めることと、語彙を増やすことを同時にすることが語彙の獲得に役立っていくことが興味深かったです。また、動詞を表す言葉の使用を促すために宝探しを設定していることもとてもいいなと思いました。物を隠したり探したりすることを通して文表現での会話の必要性が生まれ、主体的に動詞を使うことができる活動になると思います。具体物を集めてぜひ宝探しをやりたいと思いました。さらに、文表現での会話を促す取り組みでは文字を使ってプリントに文を書くことによって、言っただけでは消えてしまう文が目に見える形で残っていくので付いた力を実感できて達成感が味わえるなと思いました。やってできた喜びが次への原動力になっていくと思います。大変効果的だと思います。レジメをもう一度読み返して、私の指導に取り入れさせていただきたいと思います。発表をありがとうございました。
志太・榛原	アセスメントを取る大切さ、狙いをピンポイントに絞る大切さが分かりました。お忙しい中での準備ありがとうございました。
志太・榛原	いづみ先生ありがとうございました。私ははじめてことばの教室にきたので、構音検査や絵画語彙検査といった検査をあまり知りませんでした。長期目標や、短期目標で取り組みを明確化させ、様々な発達の遅れに振り回されないように主訴に立ち戻りながらご指導させる姿勢が素晴らしいと思いました。これからの実践に役立たいと思いました。
小笠	ご発表ありがとうございました。いろいろ工夫なさって指導されていて、勉強になりました。私は短い内容の絵本や絵カードを使って、話す練習をしています。まず私が話を絵を見せながらして、その後子どもさんにしてもらいます。その時に付箋に書き取って修正したり加えたりします。そしてもう一度子どもさんに話してもらいます。苦手なお子さんが多いのでみんな嫌がりますが、続けていると上手に話してくれるようになる子もいます。
志太・榛原	スモールステップで指導を進められていて、大変勉強になりました。語彙検査の結果がぐんと伸びていて効果的な指導だったのだと思いました。宝探しゲームは本教室でも取り入れていきたいです。動作後の学習として、オノマトペカードを利用したり、ジェスチャークイズを行ったりしています。
浜松	マイクがうまくつながらず、申し訳ありませんでした。ことばの発達がゆっくりで、発音も全体的に不明瞭なお子さんに対して、どこからどうアプローチしていけばいいのかいつも悩んでいます。また、それに加えて、集中力が短い子、勝ち負けにこだわる子、多動傾向で離席が多い子など、子どもによって、どう指導を組み合わせようかと常に悩んでいます。落合先生の取り組みの中で、体ほぐしや宝探しゲームなど比較的動きの要素が入っていると、子どもも飽きずに取り組めるのではと感じました。先生の細かなアセスメントを踏まえたうえで、具体的な指導のお話が多くとても参考になりました。インリアルアプローチは私も自由会話の中で意識的に取り入れているのですが、先生がおっしゃったように、こちらの言い直すタイミングの難しさを感じています。できるだけ子どもの発言にかぶせないように...と思っているのですが、子どもも其々、会話のタイミングもあるのでむずかしいです...。
静岡	音韻の取り方は幼児と同じでした。
小笠	言語発達遅滞の指導は、子どもたちの課題・指導も様々で大変だと感じています。実践の中にあつた音韻意識、語彙力、文表現は大きな課題だと感じています。文表現では、いくつかの実践を教えていただき大変参考になりました。ただ子どもに文の構成を教えるのではなく、午前中の講演にもあつた共同注意からコミュニケーションをとり文表現を膨らめていくことは大切だと感じました。文表現は相手意識も大切であることを学びました。ありがとうございました。

東部第2地区	今日はありがとうございました。アセスメントの大切さを再認識しました。構音検査から音韻認識の弱さを捉えられたのは、子音省略があったり正しく構音できていない音があったりしたからという捉えでよいですか？結果から実態をとらえるのもきちんとわかっていないので、そこから勉強しなければと思いました。LCSAを前任者がやっていたので、教えてもらいながらやってみようと思います。先生方の実際の教材を見せていただき、たいへん参考になりました。音韻認知を促すどころ、早速作ってみたいと思いました。
東部第2地区	子供と会話する場面を丁寧に持って、子供と一緒に作り上げている指導だと思いました。ありがとうございました。
小笠	子供の実態から目標を設定し、それらを達成するために日々の指導の工夫と積み重ねをされていることがよくわかりました。音韻認知を高める取組、語彙を増やす取組など、数々の具体的な実践例が大変参考になりました。
志太・榛原	指導目標をカテゴライズして、その子の目標を3か月をめぐりに立てていくことが参考になりました。その子の課題を、見つけるためにアセスメントを細かく行い見つけていくこと、それを元に1時間の指導の流れを教えてください参考になりました。宝探しは指導に取り入れたいと思いました。
東部第4地区	段階を追った指導、見取りがとても素晴らしかったです。音声や動画も分かりやすかったです。発表ありがとうございました。
東部第3地区	段階を追って目標が設定され、指導が組み立てられていたところがすばらしいと思いました。また、具体的な指導方法も教えてください、先生が子どもの言語獲得のために、様々な工夫をされてきたことが伝わりました。
静岡	丁寧にアセスメントをとり、指導に生かす、またその成果をみとっていることの大切さを感じた。いろいろな指導に広げず、主訴に戻ってぶれずにやりたい。主訴の共通理解が難しいことがある。
磐城	長期目標と、そのために段階を追った目標をしっかりと立てて取り組んでいくことの大切さを改めて確認させていただきました。教材もたくさん紹介していただき、ありがとうございました。（富士市特別支援教育センター提供の文字カードや袋井市の拗音かるたをダウンロードできる場所があったら教えてほしいです。）
志太・榛原	発音の誤りのまま書字をしており、字と音のマッチングができていない子が何人か通っているが、ホワイトボード等を使用して視覚的に間違いに気づかせていきたいと思った。1年間を通して、指導計画がしっかりなされているので、自分もしっかりやらなければならないと反省した。
浜松	富士では入級時にどんな基準があり、どんな検査を行ってアセスメントを行っているのか検査名を具体的に教えてほしい。
小笠	明確なアセスメントから、児童の課題を明らかにして「長期目標」を立て、実態に応じてスモールステップで指導していくという組み立てが、とてもよくわかりました。その結果としてのエビデンスも数値として分かり、説得力がありました。ありがとうございました。
浜松	様々な具体的な支援と成果、伺っていて楽しく、また、やる気をいただきました。言語発達に遅れがみられる子は読み書きの習得にも困難を持つケースが多いので、その場合の指導の仕方についても学びたいと思いました。
東部第4地区	落合先生の発表から、事例のお子さんの成長を感じました。先生の指導がつながっているなと感じました。先生が個の実態把握をしっかりとらえているからこそだと思います。勉強になりました。ありがとうございました。